

春を満喫してみませんか

市役所で桜まつりを開催

4月5日(日)9時30分～15時30分、会場を約70本のソメイヨシノが咲く市役所の南側広場に移して市商工会青年部が桜まつりを開催します(荒天中止)。キャラクターショーをはじめ、ストラックアウト、フリーマーケット、模擬店など、子どもから大人まで楽しめるイベントが盛りだくさん。この機会に綾瀬の春を満喫してみたいはいかがでしょうか。
 園市商工会 ☎78・0606。



▲昨年の桜まつりの様子

3月末～4月初め

土・日も転入転出などの手続き対応

一部の窓口業務を実施

3月末～4月初めは、転勤や入学など住所を移すことが多い時期です。市民課など、異動の手続きを行う窓口は大変混雑することから、混雑を緩和するほか仕事を休まずに手続きできるよう、土・日曜日も一部の窓口業務を行います。

▶日時 3月28日(土)・29日(日)、4月4日

(土)・5日(日)8時30分～12時15分・13時～17時▶業務 表のとおり(内容により一時預かりや平日の対応になる場合あり。不明な点は事前に各課へ問い合わせ)▶その他 毎週土・日曜日に行っている住民票などの証明書発行や納税相談、市税の納付も受け付け

開庁する窓口	取り扱う事務
市民課 ☎70・5668	①住所の異動(転入や転出など) ②戸籍届の受け付け(婚姻届や出生届など) ③印鑑登録 ④外国人住民の異動 ⑤介護保険資格取得・異動・喪失に係る受け付け ⑥小・中学校の転入学(相談業務を除く)、新1年生の就学 ⑦し尿・汚水くみ取りの申し込み ※①②④の事務で他市に確認する必要がある場合は、預かりか平日対応 ※⑤～⑦の事務は住所異動の手続きに伴うものに限る
子育て支援課 ☎70・5664	①児童手当 ②小児医療費助成 ※住所異動の手続きに伴うものに限る
保険年金課 (保険) ☎70・5617 (年金) ☎70・5618	①後期高齢者医療被保険者資格(転入・転出)異動 ②国民健康保険被保険者資格(転入・転出)異動 ③国民年金第1号被保険者資格(転入・転出)異動 ※住所異動の手続きに伴うものに限る ※年金事務所などに確認する必要がある場合は、預かりか平日対応

タイムスリップ

鎌倉武士の館

宮久保遺跡は早川地区の蛇行して流れる目久尻川西岸にあり、現在の県立綾瀬西高校になります。遺跡の発掘調査は昭和56年～59年に行われました。鉄製馬具の杏葉轡、「藤原頭長」の銘文が刻まれた陶器や経筒の銅製蓋などが出土しており、武士階級の居館跡と推定されます。

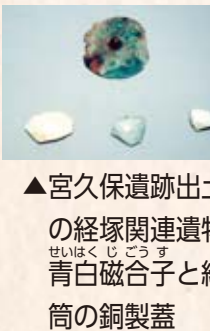
園生涯学習課 ☎70・5637。



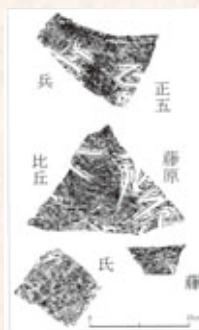
▲宮久保遺跡出土の杏葉轡



▲宮久保遺跡出土の青白磁碗



▲宮久保遺跡出土の経塚関連遺物 青白磁合子と経筒の銅製蓋



▲藤原頭長銘の渥美窯短頸壺

※写真は県教育委員会提供

保存版 1年間大切に保存してください。平成27年度(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

あやせ健康だより

20歳からの健康チェック事業(個別予約制)は人々の健康をより良くするために、健康のチェックはスマホやタブレットでチェック!

発行: 綾瀬市保健医療センター
〒252-1107 綾瀬市宮久保1-1-1
TEL 0467-77-1133 FAX 0467-77-1134
メールアドレス: su1340@city.ayase.kanagawa.jp
ホームページ: http://www.city.ayase.kanagawa.jp/

健康づくり事業を1冊にまとめた「あやせ健康だより」を作製し、3月末に全戸に配布します。27年度の各種健康診査・予防接種スケジュール、医療機関一覧表、教室・事業の案内などを掲載し、健康に役立つ情報をお届けします。1年間大切に保管し、活用してください。

1 1 3 3。 園保健医療センター ☎77

健康情報をお届け

健康、予防接種など
たよりを全戸配布

きらめき市民活動

まちかど特派員 レポート 高橋 元



パップミュージックプラス PAPmusic+

園鈴木 ☎070・5026・8525



▲イベントでの舞台の様子

PAMUSIC+は、音楽・ダンス・舞台を専門的に学んだ経験者や協力者で組織する、子育て中の母親のグループです。平成21年2月に発足し、主婦で母という立場と経験を生かし、市内サークルの指導や若い世代の育成などを行っています。

同グループは、通常のコンサートでは見られない団体同士の共演や、出演者と来場者が一体となって音楽を身近に体感できる発表の機会を提供し、音楽をみんなが楽しむためのイベントの企画や運営なども行っています。



▲イベントに向けての練習の様子

場者が会える大切な場にもなっています。代表の鈴木千穂さんは、「それぞれの団体が個性や素材を、さまざまな形で融合させて演目を企画し、出演できる機会や環境を増やすとともに、いろいろな可能性や試みを展開していく運営を目指していきたい」と話していました。

音楽を通して、人と人がつながり、心と心が通い合い、豊かな市民交流の環境になるのではないかと感じました。